

2019 年度事業計画

I. 社会的養護の必要な子どもの自立支援

1. こども・若者未来基金

- ・こども・若者未来基金による、給付事業を継続します。
- ・自立援助ホーム、アフターケア事業者、児童養護施設などつながりのある子ども若者を、伴走者（支援者）とともに支援していきます。
- ・こども・若者未来基金の寄付募集目標は、10,000,000 円とします。
- ・クラウドファンディングなどを活用しながら、広く県民に普及していきます。
- ・9～11 月をキャンペーン月間として、集中して寄付を呼びかけます。
- ・キャンペーン月間にあわせ、9 月 10 月にシンポジウムを開催します。
- ・こども・若者未来基金が周知されるよう、児童養護施設等へ向けて情報発信を積極的に行います。
- ・中間的就労を含めた就労支援、定着支援や居住支援について、関係機関と連携をしていきます。

2. その他の自立支援

- ・「ことばキャンプ」の養成講座に参加したインストラクターによる児童養護施設などへの出張講座に備えスキルアップを目指します。講座を通じて、施設に暮らす子どもたちが言葉によるコミュニケーション力を身につけ、自立へ向けた力をつける一助とします。

II. 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業

- ・ちば子ども虐待防止連絡会（通称 JasPCAN ちば）（2017 年度虐待防止学会ちば大会実行委員を中心とする団体）等と、ゆるやかに連携し、子どもたちの支援につなげます。
- ・千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携し、「ちばこどもおうえん広場 2019&オレンジリボンキャンペーン」を開催します。

III. 里親家庭支援について

- ・ちばこどもおうえんだんは、里親家庭の支援について設立趣旨で謳っています。また千葉県の里親支援機関として位置づけられています。これまで不足していた里親家庭への支援を充実させ、社会的な認知度が増すことは、社会的養護を受ける子どもたちの健やかな成長に繋がっていきます。これまでの経験を活かし、千葉県の里親関連の事業にも積極的に応募します。

IV. 啓発・広報事業

1. 啓発事業

- ・社会的養護下の子どもたちの自立について考えるきっかけとなり支援につながるよう、シンポジウムなどを開催します。
- ・児童虐待防止に関する啓発活動を行います。

2. 広報事業

- ・ニュースレターや web を通じて、会の活動や情報を社会へ広く伝えます。

V. 調査研究活動事業

- ・社会的養護や里親制度の課題やニーズについて、調査研究をします。

VI. その他

1. 事務局受託

- ・生活クラブ風の村が千葉県より事業受託しているアフターケア事業 CANS（ちばアフターケアネットワークステーション）の事務局を継続して担います。主に、児童養護施設の子どもを対象にしたセミナーや地域の支援者に向けた研修会などの資料作成、アフターケア勉強会への協力などを行います。
- ・千葉県児童福祉施設協議会の事務局機能の一部を、2018 年度に続き受託します。

2. その他

- ・「わくわくエンジン」が県内で広がるよう、関係団体等と連携します。ちばこどもおうえんだんは、事務局を引き受けます。
- ・特別養子縁組の普及啓発について、国の動向も視野に入れ、民間事業者との連携を図り、進めていきます。

VII. 組織運営

1. 運営体制

- ・事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催します。

理事会：年 5 回

こども・若者未来基金運営委員会：おおむね 2 月に 1 回程度

2. 会員拡大について

- ・団体リーフレットをリニューアルし、上期を中心に会員拡大を目指します。
- ・おうえん会員（賛助会員）を増やして、共感の輪を広げます。

【目標数】

会員種別		目標（人数・団体数）	目標（口数）
運営会員	個人	16 人	16 口
	団体	4 団体	53 口
おうえん会員	個人	150 人	150 口
	団体	10 団体	10 口

3. 認定 NPO 取得について

- ・2017 年度 2018 年度を対象年度とし、認定 NPO 取得に向けて準備を進めます。